



コンテナは、鬼ヶ島の伝説が残る女木島(めきじま)に近いこと由来して「桃」の形を模しています。海上輸送実験には、TBS系列の山陽放送(RSKテレビ)が取材に訪れました。

2016年から東京計器がスポンサーシップ契約をしている「無人輸送船プロジェクト (Donbura.co: ドンブラコ) は、瀬戸内海離島への無人輸送物流網構築を目的に「株式会社かもめや」が立ち上げたプロジェクトです。

瀬戸内海には人口100人に満たない小さな島が数多くあります。

ここでの交通輸送手段はおもに定期船や海上タクシーとなりますが、買い物や病院に行くには時間もかかり料金も割高です。住民の高齢化に伴い、医薬品が速やかに入手できる新たな物流手段の構築も喫緊の課題と言えるでしょう。

無人輸送船プロジェクト (Donbura.co: ドンブラコ) は、こうしたニーズに応えるために立ち上げられました。

昨年12月23日には、高松港(香川県高松市)と男木島(おきじま)の約9kmの区間において無人物資輸送艇の海上輸送実験を行い、2020年の実用化に向けて着々と成果を上げています。

東京計器では引き続き本プロジェクトを応援してまいります。

株式会社かもめや <http://www.kamomeya-inc.com/>

